

便槽のふたまわり ごみ集積所 除雪にご協力ください

し尿や浄化槽汚泥をためる便槽や合併浄化槽のふたが雪に埋もれてしまうと汲み取り作業が困難になりますので、ふたまわりの除雪にご協力をお願いします。また、積雪の状況によってスムーズな作業が難しくなりますので、業者への連絡は早めに行いましょう。



ごみの収集についても、道路の除雪状況により遅延が発生する場合があります。ごみ集積所をご利用の皆様には、集積所周辺の除雪やごみ出しルールの徹底にご協力をお願いします。

農業や自営業を営む方・事業所の皆様へのお願い

集積所に出せるごみ、出せないごみ

ごみ集積所には、事業系ごみ*を出すことはできません!!

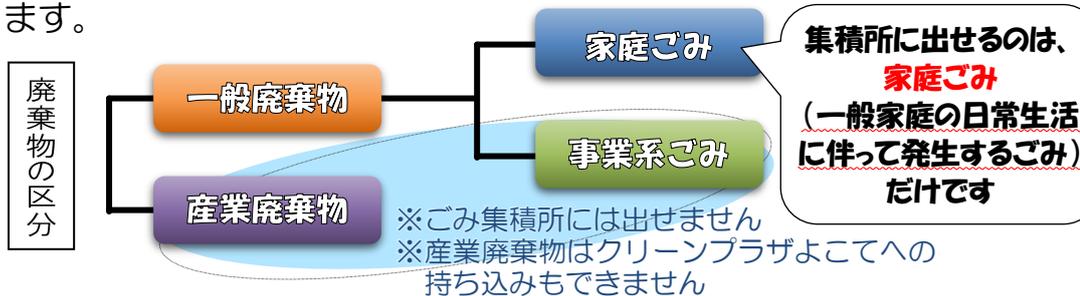
* 事業系ごみ(事業系一般廃棄物)とは、農業や個人商店、会社などから出たごみのうち産業廃棄物を除くごみです

事業系ごみは市指定の家庭用ごみ袋(黄色いごみ袋)やプラスチック製容器包装類専用袋(透明のごみ袋)に入れてもごみ集積所には出せません。

事業系ごみを集積所に出すと、不法投棄として罰則を受ける場合があります。

【事業系ごみの例】

- ・従業員が食べたコンビニ弁当の空容器
 - ・会社の給湯室のごみや残飯
 - ・売れ残った商品 等々
- 市指定のごみ袋に入れても出せません



事業系ごみの処分方法は・・・

① 事業者が自ら運搬・処理する

ごみ処理施設「クリーンプラザよこて」に直接搬入してください

② 横手市一般廃棄物収集運搬許可業者に委託する

右記のQRコードから許可業者および許可区域等を確認して依頼してください(市ウェブサイトへリンクします)



エコな暮らしのお役立ち情報をお届けします

えこらういふ 協力 町内会 事業所 通信

ご協力に感謝!

【発行元・問合せ先】

横手市市民福祉部
生活環境課
〒013-8601
横手市中央町 8-2
[TEL] 35-2184
[FAX] 33-7838
[E-mail] kankyo
@city.yokote.lg.jp



検 定

エコライフ検定にチャレンジ！
学ば-156-

Q1：温暖化による平均気温の上昇で起こることとして当てはまらないのはどれ？

- ① 紫外線による障害の増大
- ② 夏の冷房の電力需要の増大
- ③ 夏の日中のスポーツ活動への支障
- ④ 降水量の変化による土木・建築業への影響

＜解説＞温暖化により平均気温が上昇すると真夏日の日数が多くなるといわれています。土木、建築業などのような屋外作業が主な産業では、炎天下の作業の回避、降水量の変化によって生じる作業の中断などにより、工期への影響が考えられます。また、気温の上昇から夏のクーラー使用には一層の拍車がかかり、電力需要が増大し、火力発電能力の拡大が避けられず、二酸化炭素がますます多く排出されます。

（解答：① 紫外線による障害の増大）

Q2：熱帯林で伐採されるラワンの巨木の伐採方法はどういう方法？

- ① まわりの木々の間を転がすようにして搬出
- ② まわりの大量の樹木を伐採して道を切り拓く
- ③ 立木のまま上から順番に玉切りして搬出
- ④ ヘリコプターで切った状態のまま搬出

＜解説＞日本の企業が大規模な伐採を行ったフィリピン、マレーシア、インドネシアなどの熱帯林で再生林が望まれています。1本伐採したから1本植えればよいといった具合に簡単に森林の再生はできません。ラワン材をとるためのフタバガキの大木は1ヘクタールに1本ないし2本しかなく、この伐採のために道を開き、あまたの樹木を伐倒し森林自体を破壊してしまっているからです。

（解答：② まわりの大量の樹木を伐採して道を切り拓く）

Q3：1万平方キロメートルの温帯林の成熟林では、地上と地下とを合わせてどれくらいの炭素が蓄積される？

- ① 約2百万トン
- ② 約2千万トン
- ③ 約2億トン
- ④ 約20億トン

＜解説＞気候条件が樹木の成長に適合している熱帯林では特に樹木の成長が早く炭素の固定には即効性があります。年間約70億トンも排出される炭素を固定して行くには、巨大な面積の森林化が求められます。1万平方キロメートルの温帯林の成熟林では、炭素の存在量が地上地下を合わせて平均2億トン程度と推定されています。

（解答：③ 約2億トン）